

令和元年度実施分

協働事業
市民活動助成事業

事業紹介



松戸市

目 次

令和元年度協働事業・市民活動助成事業 事業紹介

【協働事業】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ

○ 災害時要配慮者支援事業	小金原地区会（小金原連合町会）防災部 危機管理課	1
○ 公共サイン改善事業	公共サイン研究会 都市計画課	2
○ 子どもたちがつくる 青少年会館居場所事業	だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会 生涯学習推進課青少年会館	3

【市民活動助成事業（スタート助成）】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ

○ 「甚左衛門の森」保全育成事業	松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」	4
○ 学習支援と食の提供による 子どもの居場所作り事業	まんぷく小屋	5
○ 子育てが楽しくなる地域コミュニティ事業	なないろのもり	6
○ 音楽活動による街の活性化事業	松戸音楽活動同好会	7
○ みんなで楽しもう秋のお出かけ事業	認定特定非営利活動法人 たすけあいの会ふれあいネットまつど	8
○ 野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！ 地域猫スタート相談会事業	松戸地域猫スタートサポート	9
○ プレママ教室事業	ぶぶぶママ大学	10
○ マジック演技を通し高齢者に 元気をあたえる事業	和気あいあいマジッククラブ会	11
○ 音楽活動による地域交流事業	アンサンブル <small>ポンテ</small> Ensemble Ponte	12
○ 小学生の夢を育む放課後改革 /情報サポート事業	MIRAIのしるし	13

【市民活動助成事業（ステップアップ助成）】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ページ

○ 笑劇で施設利用高齢者を元気にする事業	浅間台笑劇研究部	14
○ 生活圏に「お節介な友達作り」 活動推進事業	介護・認知症の家族と歩む会・松戸	15
○ 市民の権利擁護に関する啓蒙普及事業	一般社団法人コスモス成年後見 サポートセンター千葉県支部	16

災害時要配慮者支援事業	団体名	小金原地区会（小金原連合町会） 防災部
	事業担当課	危機管理課

事業費	700,000円	自己資金	200,000円	負担金	500,000円
-----	----------	------	----------	-----	----------

平成31年度（2019年度）事業の取り組み【予定】

- ・福祉の時代、介護の時代という大きな地域社会の背景のなか、防災活動における福祉の大切さを確保する。
- ・災害福祉の観点で行政に先行し地域が動くことによって小金原モデルを実現し、松戸市全域に防災活動を広げ、最終的には地域づくりにつながっていくことを目指す。
- ・要配慮者とは災害の発生に伴い支援が必要になるのではなく、平常時において支援の必要な方々である。その意味で、要配慮者への支援を防災という枠を超え限りなく福祉に近づけたい。

平成30年度の1年目の協働事業では、要配慮者の中でも、高齢者、障がい者に目を向けていたが、2年目となる今年度（平成31年度）の事業では、更に、乳幼児に対する支援を検討したい。そのためには、子育て支援を行う事業所（NPO法人含む）との連携がかかせないものと考えている。

- ① 講演会を開催し災害時の要配慮者支援の必要性等を訴える。また、防災訓練等にも要配慮者に該当する障がい者、乳幼児などの参加の仕組みを確立したい。
- ② 講演会は、要配慮者支援をテーマに設定するだけでなく、支援を平時と災害時の連続性として捉えると共に、子ども食堂に象徴される社会課題、加速する超高齢化社会等との背景の中で捉え、今日的な社会課題のつながりの中で開催したい。
これらを進めるには、小・中学校のPTAとの連携も欠かせないものと考えている。
- ③ 要配慮者支援会議を実施して、地域社会に防災を見据えた福祉のつながりを形成する。

平成31年度（2019年度）事業の目標

- ① 「防災フェア」の開催。
- ② 講演会の開催（2回）では70～100名以上の参加者を集める。
- ③ 要配慮者支援会議開催（2回）。
- ④ 一般住民でも分かりやすい要配慮者支援（乳幼児対象）のチラシを作成。
- ⑤ 小金原DWAT（災害福祉支援チーム）を10チーム結成し、実際に訓練を体験する場を設定する。
- ⑥ 収容避難所である小・中学校における避難訓練で福祉避難室確保に向けて、保健室・和室等を開放できる体制を各学校と協議し、実訓練に生かす。



【団体紹介】

平成28年度に小金原連合町会（現在は小金原地区会）の中に防災部を組織し、福祉を考える必要性を具現化させている。「専門職部会」、「女性部会」、「避難所部会」、「災害福祉部」の組織化を進めており、平成30年度に続き、平成31年度も危機管理課と共に松戸市との協働事業「災害時要配慮者支援事業」を推進する。

《問合せ先》 小金原地区会（小金原連合町会）防災部
松戸市小金原6-6-2 小金原市民センター内
小金原地区社会福祉協議会内 電話／FAX：047-348-7115
Eメール：rbwwp146@yahoo.co.jp 小金原連合町会防災部副部長 細田耕司

公共サイン改善事業	団体名	公共サイン研究会
	事業担当課	都市計画課

事業費 181,270 円	自己資金 18,270 円	負担金 163,000 円
---------------	---------------	---------------

平成31年度（2019年度）事業の取り組み【予定】

■取り組みもうとする背景・解決したい課題

松戸市街では公共サインを含め各種案内表示が乱立しており、景観の阻害や案内表示の分かり難さという問題を抱えていることから、公共サインを改善する必要性は高い。公共サインの改善に関しては、近年ではまちのアイデンティティ創出の観点からも、各地の自治体での取り組みが進められており、単なる視認性向上や多言語対応等だけでなく、統一したイメージカラーや字体、独自デザインのピクトグラム等を設定し地域性を表現する事例もみられる。そこで、私たちは市民活動団体と都市計画課の協働によって公共サインの改善のための以下の活動を行っていく。

■活動予定

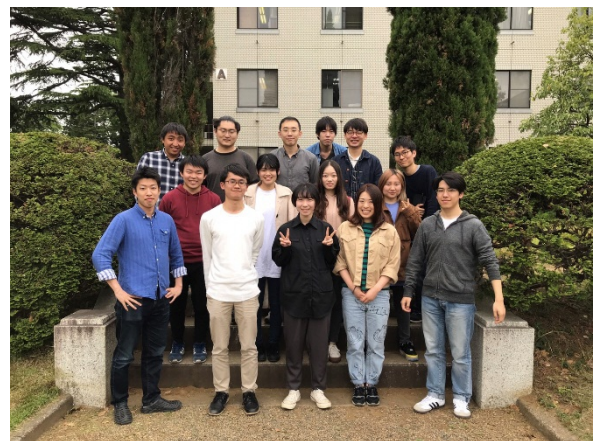
①公共サイン定期便とホームページによる情報発信：

公共サインを知り、松戸のまちを考えるヒントとなるような内容、親しみやすい内容とし、活動内容の紹介や公共サインに関する豆知識、下記ワークショップの広報などの情報を発信していく。

②ワークショップの開催：常盤平地区、小金北地区、小金南地区を対象としたポスター展示・座談会・まちあるき等のワークショップを行う。

③公共サインに関する基礎資料の作成：松戸市における公共サインガイドラインの策定のための基礎資料の一部となる成果物を作成する。

④公共サインの景観協議対象化に向けたフロー作成：松戸市における景観協議対象として公共サインを位置付けるため、協議に関する資料の取りまとめ及びフローを作成する。



今年度の公共サイン研究会のメンバーです！

平成31年度（2019年度）事業の目標

- ・公共サイン定期便の発行を年間4回以上行う（3カ月に1回発行）
- ・ワークショップは地域毎に行うが、各地域共通のディスカッション項目を3つ以上設定し、公共サインガイドラインの基礎資料として様々な市民の意見を集め、取り纏めることができるものとする。
- ・各地域のワークショップを計3回以上（必要に応じて各地域2回）開催する。

【団体紹介】活動コンセプト：公共サインの改善を通して松戸のまちのジャンプアップにつなげる

単に「きれいに整える」ということを目指すのではなく、市民が松戸のアイデンティティとして認識するようなアイコンとなり、市の外へ松戸の魅力をアピールするツールとなり得るような、公共サインを通じた「松戸のジャンプアップ」を目指しています。

《問合せ先》◇団体名：公共サイン研究会◇住所：松戸市松戸648 A棟3階

◇E-mail：publicsign.matsudo@gmail.com

◇ホームページ：https://matsudo-publicsign.amebaownd.com/

◇担当者名：池田 篤則（いけだ あつり）

Check! ホームページ
のQRコードです！→



子どもたちがつくる 青少年会館居場所事業	団体名	だいすき松戸！子ども フェスティバル実行委員会
	事業担当課	生涯学習推進課 青少年会館
事業費 260,000 円	自己資金 26,000 円	負担金 234,000 円
<p>平成31年度（2019年度）事業の取り組み【予定】</p> <p>①子どもに関わる担い手育成プログラム 青少年会館の既存事業と連携し、主に中学生～20代の層をターゲットにまずは自らが体験・学ぶプログラムからつないで担い手コミュニティを形成、プログラムの提供者へとステップアップを図る事業を、30年度に引続き実施します。 また、夏休み期間と併せて、冬のクリスマス会と一緒に企画するボランティアを追加募集し（11月下旬開催の子どもフェスティバルのボランティア募集と同時に）、より多くの担い手発掘・定着を図ります。</p> <p>②子どもとの体験プログラム&ロビーワーク 会館の事業スケジュールを下地に、「スポーツ」「共同制作」「アート」と3つの時期に分けて、週2回程度、放課後時間帯を中心に予定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スポーツテーマ期間…夏休み期間＝7月下旬～8月末にかけて、会館利用団体へ協力を依頼し、ロビーと体育館を一体として様々なスポーツ等に触れる体験を提供します。（卓球・バドミントン等） ●共同制作テーマ期間…お化け屋敷や迷路などを想定し、11/3の文化祭で発表を目指して共同制作を進める中で、ロビーでの新たなつながりを生み出します。 ●アートテーマ期間…11月後半から、青少年会館利用の文化団体（演奏団体・演劇団体・版画等芸術団体）と連携・協働し、2月末開催のアートパフォーマンスまつりで展示できるよう進めます。 		
<p>平成31年度（2019年度）事業の目標</p> <p>①子どもに関わる担い手育成プログラム プログラム参加者数を延べ60名として複数日実施し、継続的に本事業に加わるボランティアを年間10名程度確保を目指します。</p> <p>②子どもとの体験プログラム&ロビーワーク 定期的に参加し、興味を持つ小学生、互いの「顔が見える」関係の参加者が10人程度となるよう、支えます。</p>		
<p>【団体紹介】</p> <p>だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会は、市内の子どもの育ち・学びに関連するNPOのネットワーク組織です。これまで秋を中心に18回、小学生を対象にした遊びと、中学生～学生世代のボランティアマッチングをしたフェスティバルを、青少年会館と共に開催してきました。</p> <p>《問合せ先》 だいすき松戸！子どもフェスティバル実行委員会（松戸市馬橋 2855-407・NPO 法人子どもとまつど内） 080-5086-4912、office@copatee.net、担当＝小熊 浩典</p>		



<p>「甚左衛門の森」保全育成事業</p>	<p>団体名</p>	<p>松戸里やま応援団 「甚左衛門の森の会」</p>
-----------------------	------------	--------------------------------

<p>事業費 155,000円</p>	<p>自己資金 55,000円</p>	<p>助成金 100,000円</p>
---------------------	---------------------	---------------------

平成31年度（2019年度）事業の取り組み【予定】

松戸里やま応援団の1グループとして甚左衛門の森で定期的な森林の保全活動を行い、樹木や生物の多様性の維持回復を図ることで、森林の環境保全や景観の形成に寄与することを目的としている。

- ① 森の保全活動（H30年度から継続）
 - ・ゴミの撤去、雑草木の刈払い、倒壊木・枯木の集積、処理
 - ・侵入竹の除去、除去竹の保管・整理、不要樹木の伐採、希少種の保護
- ② 森の保全の準備活動（H30年度から継続）
 - ・植生調査の実施、長期保全計画の立案・検討
 - ・安全講習会等の開催、刈払い機・チェーンソー等の講習会への参加
- ③ 広報的活動（H31年度）
 - ・「森の掲示板」の設置（H30年度1か所設置済み、2か所目）
 - ・「オープンフォレスト in 松戸 2019」の諸準備と開催
 - ・「当森の紹介と会員募集のチラシ」作成（H30年度に続き2回目）
- ④ 定期的「森の公開・森の紹介」（学習、観察、遊び）を行う準備作業
 - ・森の中の安全な散策道、遊歩道の設営
 - ・昆虫・植物観察等野外学習の為に準備作業（名板・説明書き取付等）
 - ・安全な道具・遊具の作成準備（ハンモック、ベンチ、丸木橋等）
 - ・木工、竹細工等のイベント開催に向けて、その技術講習会に参加
- ⑤ 森の活動日
 - ・定例活動日：月2回（第2、第4水曜日午前10：00～12：00）



平成31年度（2019年度）事業の目標

1. 国が定める森林密度基準に近づけるべく、不要な樹木を伐採する。（森全体の約30%、面積で約0.2ha）・H31年度目標は全体の10%伐採。
2. 当森内の竹林を適正数まで伐採する。（竹林面積の約30%、本数で約500本）・H31年度目標は約170本伐採。
3. 新たに発見の希少植物（キンラン、ギンラン等）の保護エリア枠を作る。
4. 「オープンフォレスト in 松戸 2019」にて、森の公開・森の紹介を行う。
5. H31年度版の市民向けチラシを作り、会員募集などの広報活動を行う。

【団体紹介】

松戸里やま応援団「甚左衛門の森の会」

東松戸駅から徒歩15分の高塚新田地区の約0.9haの森（甚左衛門の森）で2017年7月から保全活動を始めた。里やま応援団の他の森と比べると、未整備の森ですが現在10名の会員で月2回の定例活動を行っている。

《問合せ先》

代表 村井行雄 電話：047-342-6261 FAX：（同左）

e-mail：muraiyukio0727@tb3.so-net.ne.jp

<p>学習支援と食の提供による 子どもの居場所作り事業</p>	<p>団体名</p>	<p>まんぷく小屋</p>
-------------------------------------	------------	---------------

<p>事業費 123,600 円</p>	<p>自己資金 23,600 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

平成 31 年度（2019 年度）事業の取り組み【予定】

まんぷく小屋は、学校とは違うアプローチで学ぶことを楽しんだり、家族や先生とは違う大人に出会うことで未来を拡げたり、親もスタッフと話すことで一息つける、多世代のコミュニケーションの場になることを目的にし、国籍の違いや発達障害など多様化している子ども達を、多世代・多職種の大人達がフレキシブルに対応することを目指す。

また広報活動を行い、存在を知ってもらうことで、子ども達の様々な問題にも目を向ける大人を増やし、みんなで子ども達を育てられる地域にする。

そのために広報活動に力をいれ、寄付やボランティアで賄えるようになることをめざす1年にする。

<事業内容>

- ・ 定期的な学習支援と食事提供
- ・ 近隣の小中学校や町会などでの募集活動
- ・ まつど子ども食堂の会のイベントや会議などへの参加
- ・ 学校に行きづらい子供やその親へのサポート活動



平成 31 年度（2019 年度）事業の目標

○学校に行きづらい子やシングルペアレントなど、地域との関わりが薄く、情報を取りにくい親子へのリーチ(SNS、ブログの活用、学校の先生への協力依頼、自治会、民生委員への協力依頼)、及び地域のボランティア希望者への広報(郵便局、市民センターなどへのポスター掲示)に力をいれ、双方がつながれる場を提供する

○まんぷく小屋だけで対処できない親子と出会った場合は地域の団体につなぎ(市民活動サポートセンターなどへの積極的関わりを持つ)、どんな子どもも生き生きと未来を夢見て生きていけるよう、微力ながらも地域の団体としてサポートする

○プロフェッショナルな団体ではなく、一般の主婦達が場を作ることで、市民活動の敷居を低くする



「まんぷく小屋ブログ」
日常の様子がわかります

【団体紹介】 毎週金曜日 17 時～21 時 宿題サポート&子ども食堂

《問合せ先》まんぷく小屋

🏠 松戸市常盤平 2 丁目（常盤平第一小学校近く） ☎ 090-2223-7035

✉ manpukukoya@gmail.com

http://ameblo.jp/manpukukoya/ 担当:中村

<p>子育てが楽しくなる 地域コミュニティ事業</p>	<p>団体名</p>	<p>なないろのもり</p>
---------------------------------	------------	----------------

<p>事業費 192,000 円</p>	<p>自己資金 92,000 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

平成 31 年度（2019 年度）事業の取り組み【予定】

少子化による地域の子ども会やお祭りや共働き家庭の子ども達の居場所の減少を懸念し、子どもも大人も安心して過ごせる場所、楽しめる時間を提供したいと思います。

人と人が繋がれる場所をつくることで孤立することなく、地域とつながり、今しかない子育て時期を楽しめる環境づくりを目指します。

1. クリスマスフェスティバル（12月7日）子どもたちの日頃の習い事の発表、企画から考えるこども商店、親子のワークショップ、子育て中ママパパが活躍するハンドメイド商品、地域の名店の食品など盛り沢山の内容の子どもの為のお祭りを開催
2. 夏祭り（8月2, 5, 6日）ボランティアの学生を筆頭に子ども達でお化け屋敷を設計。学校以外の仲間づくり、小さな幼稚園児まで楽しめるように工夫し創造性もはぐくむ機会
3. 遊び学びの体験（随時）、専門分野の講師を招き、普段できない体験や学びの講習会



平成 31 年度（2019 年度）事業の目標

地域コミュニティをひろく繋げるためにも、年間を通し来場者1300名程度を目標にしています。夏祭りはLet's体験ボランティアの学生と一緒に企画運営をし、次世代の育成も目指します。また、会員や協力者を募り（100名程度）一度イベントに参加した方が、主体的に考え活躍してくれるような提案もしていきたく考えています。

【団体紹介】

子育てが楽しいと感じる街づくりを目標に、親子で一緒に楽しむ人と人が繋がれるイベントを開催しています。

《問合せ先》

団体名：なないろのもり

Eメール：7iromori@gmail.com

ホームページ：http://7ironomori.jimdo.com/

音楽活動による 街の活性化事業	団体名	松戸音楽活動同好会
--------------------	-----	-----------

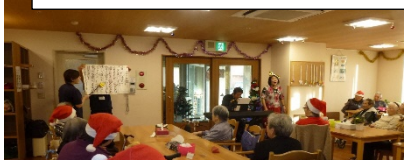
事業費 191,350 円	自己資金 91,350 円	助成金 100,000 円
---------------	---------------	---------------

平成 31 年度（2019 年度）事業の取り組み【予定】

音楽活動を通して高齢者が安心して元気で楽しく過ごせるところ、障がい者（児）が安全で元気に過ごせるところを創る。主に地域の高齢者（特に外部と接していない方）、福祉施設を利用されている高齢者や体の不自由な人たちの為に、音楽活動を媒体にして元気で勇気を与える。

解決したい課題としては、外部と接触していない孤独な高齢者に音楽を媒体としたどのような事業が出来るのか試行錯誤の段階である。又、地域で音楽活動をしている仲間達（子供達を含む）との交流を通じて、参加者同士の繋がりや精神面等の充実感を得られる事により、松戸市の発展充実を図る取り組みを目指して音楽祭やコンサートの開催を実践し始めている。又、施設訪問音楽会も充実化を図って継続して実践していく。

施設訪問 クリスマス音楽会



松音みらいフェスタライブ
＝松戸駅西口ステージにて＝



施設訪問 津軽三味線披露



平成 31 年度（2019 年度）事業の目標

1. 事業回数 : 年間 50 回を目標
2. 事業延べ人数 : 年間 1150 人を目標
- ① 参加者数（合唱者、ピアノ伴奏・演奏者、市内音楽愛好家）：年間人数 150 人
- ② 対象者数（福祉施設の利用者、一般高齢者、障がい者、市民等の事業に来てくれる人）：年間 800 人（第三回サポセン音楽祭以外）
- ③ 第三回サポセン音楽祭の来場者数：200 人



歌声サロン
期設準備中



【団体紹介】

松戸音楽活動同好会は音楽活動で街の活性化を図る事業をしています。

高齢者や障がい者が音楽を通して元気でいきいきと生活が出来、地域で支え合い繋がりをもてるお手伝いをさせていただいている団体です。

《問合せ先》

〔団体名〕 松戸音楽活動同好会 〔住所〕 松戸市上矢切 1 1 2 9—8 〔担当者〕 武石
 〔電話・FAX〕 047-365-5236 〔Eメール〕 matsudo.ongaku.kd@gmail.com
 〔ホームページ〕 <https://www.facebook.com/matsudo.ongaku.kd>

<p>みんなで楽しもう 秋のお出かけ事業</p>	<p>団体名</p>	<p>認定特定非営利活動法人 たすけあいの会 ふれあいネットまつど</p>
------------------------------	------------	---

<p>事業費 153,120 円</p>	<p>自己資金 54,120 円</p>	<p>助成金 99,000 円</p>
----------------------	----------------------	---------------------

平成 31 年度（2019 年度）事業の取り組み【予定】

【目的】

地域共生社会と言われるが、なかなか、健常者が高齢者や障がい者と一緒に過ごすなどの交流の機会が少ないと思われるとともに、高齢者や障がい者もたまには外出したいというニーズもあると思われます。一般市民、高齢者、障がい者、子どもといった多世代の皆さんと一緒に小旅行（小旅行）を企画・実行し、交流することにより心豊かな社会づくりの実現に寄与します。

【スケジュール】

- ① 11月に秋のお出かけ事業を実施し、マイクロバスでの移動時間、約1時間を目途にある観光スポットを訪問します。
- ②参加については、一般市民も参加できるように広報用のチラシを作成します。
- ③障がい者、高齢者の関わり方について分かるようにボランティア説明会を開催し、声掛けや車椅子操作についてレクチャーする機会を設けます。

「みんなで楽しもう秋のお出かけ事業」を実施することで、一般市民が高齢者や障がい者と触れ合うことができ、事業後の普段の生活で役立つ機会となればと考えています。



平成 31 年度（2019 年度）事業の目標

40人の参加のうち15名が市民ボランティアになるようにします。

【団体紹介】

高齢者、障がい者、子どもをはじめ地域に住む誰もが持っている「住み慣れた街で自分らしく人間らしく暮らしたい」という願いを実現するため、

- 1. 手助けを必要とする人へ困ったときはお互いさまの精神でたすけあい活動に取り組みます（対人援助活動）
- 2. 支え合い助け合いのある地域社会づくり活動に取り組みます（社会活動）

《問合せ先》

認定 NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

住所 : 千葉県松戸市金ケ作99-6

電話番号 : 047-710-7450

FAX 番号 : 047-710-5940

HP : <https://fnm2011.okoshi-yasu.com/>

メール : fnm2011@r4.dion.ne.jp

担当者名 : 細嶋

<p>野良猫捕獲と不妊手術の悩み解消！ 地域猫スタートサポート相談会事業</p>	<p>団体名</p>	<p>松戸地域猫スタートサポート</p>
---	------------	----------------------

<p>事業費 164,460 円</p>	<p>自己資金 64,460 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

平成 31 年度（2019 年度）事業の取り組み【予定】

「地域猫活動」開始に不可欠な「野良猫の捕獲」「不妊手術」の疑問、悩み、孤独感を取除き、スムーズに地域猫活動をスタートできる人を増やすため、各地域（市内にある市民センター等の施設内会議室等）で相談会を開催する。

相談会を通じて、各地域でチームを組んで活動できるまでの力を得てもらう。

＜相談会内容＞

【捕獲】

- ・捕獲器を借りられる場所、使用法、猫が罠にかかりやすい場所と餌
- ・仲間づくり、ご近所の協力を得る方法 等

【手術】

- ・「野良猫不妊手術」を行う病院と行わない病院
- ・松戸市で利用可能な制度の利用法、補助金額、協力病院
- ・野良猫捕獲～搬入～退院後まで なんでも Q&A 等



平成 31 年度（2019 年度）事業の目標

- ・相談会参加人数延べ 100 名以上
- ・アンケートで「参加前の悩みが解消された」を 80%以上

【団体紹介】

好きだから嫌いだから関係無いからと考えるのではなく、自分達が住む環境問題として、法律を守った方法で野良猫を無くして、地域のトラブルも無くしてもらいたいと考えています。その活動相談や手助けをさせて頂きたいと思えます。

《問合せ先》

松戸地域猫スタートサポート Tel: 080-3405-8986

担当：川野ひろし



松戸地域猫スタートサポート
の活動の様子がわかります

プレママ教室事業	団体名	ぶぶぶママ大学 (あそぶ・まなぶ・よろこぶ)
----------	-----	---------------------------

事業費 201,400 円	自己資金 101,400 円	助成金 100,000 円
---------------	----------------	---------------

平成 31 年度（2019 年度）事業の取り組み【予定】

ぶぶぶママ大学は、妊娠 20 週から 32 週の妊婦さん対象のプレママ教室です。

妊娠期から同じ地域の妊婦さんと知り合える場に。産後すぐに役立つ内容の講座と少し先を行く先輩ママの経験談話を聴く回から「ああ、あの時話していたことだ！！」と思えるような育児の孤独感や不安感に陥らない考え方やコツをお伝えできたらと思っています。パートナーの方も是非おいで下さい。

東松戸 地区

新松戸 地区

第 1 回	6/30 日 ※ 1	・「母乳育児の気持ちの準備」 ・「母乳育児経験談話」 ・手作り抱っこひも	10/ 6 日 ※ 1	・「母乳育児の気持ちの準備」 ・「母乳育児経験談話」 ・手作り抱っこひも
第 2 回	7/21 日 ※ 2	・「マタニティヨガ」 ・「ホルモン変化のお話し」 ・「ハンドマッサージ」	10/27 日 ※ 1	・「子育て・はじめの一步・大事なこと」 ・「育児と育自・経験談話」 ・「こもりうた・いろいろ」
第 3 回	7/28 日 ※ 3	・「お宮参りなどの日本伝統文化のおはなし」 ・「安産祈願」	11/10 日 ※ 3	・「マタニティヨガ」 ・「ホルモン変化のお話し」 ・「ハンドマッサージ」
第 4 回	8/ 4 日 ※ 1	・「子育て・はじめの一步・大事なこと」 ・「育児と育自・経験談話」 ・「こもりうた・いろいろ」	11/24 日 ※ 2	・「お宮参りなどの日本伝統文化のおはなし」 ・「安産祈願」

松戸 地区

10/ 6 日 ※ 1	・「母乳育児の気持ちの準備」 ・「母乳育児経験談話」 ・手作り抱っこひも
10/27 日 ※ 1	・「子育て・はじめの一步・大事なこと」 ・「育児と育自・経験談話」 ・「こもりうた・いろいろ」
11/10 日 ※ 3	・「マタニティヨガ」 ・「ホルモン変化のお話し」 ・「ハンドマッサージ」
11/24 日 ※ 2	・「お宮参りなどの日本伝統文化のおはなし」 ・「安産祈願」

☆時間：全日 13:30～15:30

☆場所

- ※ 1 新松戸市民センター 3F
市民活動支援コーナー
- ※ 2 新松戸市民センター 2F 和室
(松戸市新松戸 3-27 tel047-343-6500)
- ※ 3 金ヶ作熊野神社
(熊野神社は松戸市金ヶ作 361)

平成 31 年度（2019 年度）事業の目標

松戸市内 3 地区（東松戸地区・新松戸地区・松戸地区）でプレママ教室・ぶぶぶママ大学を開催し、各定員を 15 組とします。（パートナーの参加、おじいちゃん、おばあちゃんの参加も大歓迎です。）

【団体紹介】

ぶぶぶママ大学は、プレママの心配や悩みを軽くし、より良い出産と子育ての支援をします。

《問合せ先》

団体名：ぶぶぶママ大学、住所：松戸市串崎南町 218、電話：080-6661-1966、

Eメール：only-one.e3-373@ezweb.ne.jp

担当者：佐々木司

マジック演技を通し高齢者に 元気を与える事業	団体名	和気あいあいマジッククラブ会
---------------------------	-----	----------------

事業費	147,646 円	自己資金	47,646 円	助成金	100,000 円
-----	-----------	------	----------	-----	-----------

平成31年度（2019年度）事業の取り組み【予定】

2025年問題を始めとして高齢化が進んでいる現在、クラブ会々員の習得したマジックを、地域の高齢者福祉施設や公共施設での老人会等で披露をすることにより、高齢者の方々に楽しんで頂く事を目指しています。又、マジック演技を見て頂く事が会員にも励みになり、お互いが“楽しい”“元気になる”様に心掛けています。マジック演目は家庭にある身近な物を中心に行い、観客参加型の演技も取り入れる等、見ていて飽きないような工夫をしています。

会員自身もマジック技術の反復練習を心掛け、それが日々の生活に刺激を与え、加えて会員相互の人間関係の構築にも務め、前向きな日常生活を送る事を目指しています。

（出前公演の一例）



平成31年度（2019年度）事業の目標

- 1・出前公演の回数 年 間 10回
- 2・出前公演での対象人数 延 400人
- 3・練習回数 年 間 24回
- 4・会員出演回数 年 間 7回

【団体紹介】

団体の活動は、平成27年にスタートしました。現在約10名の会員で活躍中です。

マジック演技の習得に注力し、演技活動を心掛け、高齢化が進んでいる現在の地域活動の一助となるよう老人施設訪問等のボランティア活動をしています。そして会員相互の健康維持と親睦を図りながら楽しんでいます。

《問合せ先》

団体名：和気あいあいマジッククラブ会

住 所：松戸市八ヶ崎6-32-3 Tel 047-341-1674

Eメール：t.fiveten@jcom.zaq.ne.jp 担当者： 後藤 恒男

音楽活動による地域交流事業	団体名	Ensemble Ponte
---------------	-----	----------------

事業費 410,000 円	自己資金 310,000 円	助成金 100,000 円
---------------	----------------	---------------

平成 31 年度（2019 年度）事業の取り組み【予定】

歌声コンサートでは、生演奏に合わせてみんなで歌うことにより、普段味わうことのできない非日常感を体験していただき、高齢者の外での活動を促したいと考えております。また、様々なジャンルの曲を提供し、高齢者のみならず世代を問わず楽しめるコンサートを行います。

スケジュール

5 月	歌声コンサート
6 月	歌声コンサート
8 月	歌声コンサート
10 月	歌声コンサート
12 月	歌声コンサート
2 月	歌声コンサート
3 月	Spring Concert



馬橋市民センターホール “歌声コンサート”

平成 31 年度（2019 年度）事業の目標

歌声コンサート参加人数を増やす。

平均参加人数毎回 70 人以上

広報活動に尽力し、団体及び演奏会の認知度を高める。

コンサート 1 回の実施につき住宅へのチラシ配布 600 件以上

参加者の希望に沿った楽曲を提供する。

参加者との会話の中で得た情報に基づいた楽曲を毎演奏会 1 曲以上演奏

【団体紹介】

出会った人々との繋がりを大切にし、音楽を通して市民との親睦を深める。

そして地域発展につながるよう市民活動の一環として活動している器楽アンサンブルグループです。

《問合せ先》

団体名； Ensemble Ponte（アンサンブル ポンテ）

住所； 〒270-0025 千葉県松戸市中和倉 4 1 1-50

Tel； 080-5541-4283 Mail； ponte.music@gmail.com

担当者； 城岡まりも

<p>小学生の夢を育む放課後改革 /情報サポート事業</p>	<p>団体名</p>	
------------------------------------	------------	--

<p>事業費 148,000 円</p>	<p>自己資金 48,000 円</p>	<p>助成金 100,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

平成31年度（2019年度）事業の取り組み【予定】

共働きやひとり親世帯が増え、子ども達の放課後環境は大きく変わっています。遊び場・居場所がないという保護者の声や、学童に行きたがらない子ども。習い事の毎日に疲弊する子ども。小学生の放課後には行きづまり感や閉塞感、同時に 経験機会のバラつきや格差 も存在します。

一方で、子ども達の日常に楽しみを広げたいと積極的に関与するボランティアの存在もあります。貴重な経験や発見の機会を子ども達に提供してくれる方がいる中で、想いはあるものの上手く子ども達に向き合えずに不完全燃焼感を持つ活動家 も。また、やりたい想いはあっても何ができるか、どこでやれるかが分からず踏み出せない潜在活動家もいます。

<課題>

1. 小学生の放課後の行き詰まり感・閉塞感（安全な遊び場・子どもにフィットする居場所が少ない社会）
2. 経験機会のバラつき・格差（放課後がつまらない、興味・世界が狭い子どもたち）
3. ボランティア活動家の不完全燃焼感（伝えきれない、マナビを提供しきれないボランティア）

課題解決に近づけるため、遊び場や居場所、習い事、イベント・アクティビティ等の情報を吸い上げ、ワンストップで見える化することで子どもや保護者といった利用者の利便性向上を狙います。

また、我々の団体自ら小学生への経験プログラム開発・実施にて、放課後アクティビティの充実化とその結果検証と併せ、展開しやすいプログラムのテンプレート/フレームワーク化を進めます。

同時に、利用者の声や実績ある手法・ノウハウを集め、それらをボランティアや行政・企業といった情報を必要とするサポーターサイドへ提供することで情報支援を行います。

平成31年度（2019年度）事業の目標

- 遊び場・居場所情報（学童他児童館等の公施設、子ども食堂、習い事・体験教室・イベント等）のワンストップ情報発信 Web サイトの構築（→解決課題：子どもの遊び場・居場所の抽出）
- 小学生の体験プログラムの企画・実施（2企画）（→解決課題：子どもの興味・世界を広げる）
- ボランティアグループへのフレームワーク提供やプログラム開発・実施サポート（2個）（→解決課題：子どもに意義が伝わるプログラム、学びを提供するプログラム創出サポート）
- 放課後の課題抽出・ニーズ把握のためのアンケート実施&結果公開（1回）

【団体紹介】

小学生の放課後に、夢や興味を刺激する経験活動を企画・実施しています。

地域のチカラで、子どもも大人も居場所と役割を持ち“世界が広がる社会”を目指します。

《問合せ先》 MIRAI のしるし

【Email】 emi.ito@mirainoshirushi.com 【HP】 facebook.com/MIRAIInoShirushi

【担当者】伊藤

笑劇で施設利用高齢者を 元気にする事業	団体名	浅間台笑劇研究部
------------------------	-----	----------

事業費 372,000 円	自己資金 72,000 円	助成金 300,000 円
---------------	---------------	---------------

平成31年度（2019年度）事業の取り組み【予定】

事業の背景・目的

- ・往々にして恒常化しやすい高齢者福祉施設利用の方々の日常生活の一時を、笑って頂き、楽しんで頂き、そして心にはりを持った豊かな生活を送る一助となるべく、当該施設で「笑劇」を演じることが事業の目的です。
- ・併せて、公演で施設利用の方々の笑い喜びを、私達部員が共有することも大きな目的です。

事業内容

- ・笑劇のオリジナル脚本を制作する。
- ・役割（配役 スタッフ）を決めて練習を行い、舞台上で演じられるまでにスキルを高める。
- ・松戸市内の高齢者福祉施設に笑劇のPRを行う。
- ・並行して、必要な大道具・小道具・衣装を製作する。
- ・高齢者福祉施設で、公演を行う。
- ・松戸市民劇場に施設利用高齢者に多数来場いただき、そこで笑劇公演を行う。
- ・公演ごとに反省会を行い、観客の満足度・反省点を明確にして次回公演にフィードバックする。

平成31年度（2019年度）事業の目標

事業の目標	評価対象	数値目標
① 高齢者福祉施設公演	公演回数	10回以上
	延べ観衆	200名以上
	公演後のアンケート	よかった 70%以上
② 松戸市民劇場公演	公演回数	1回
	延べ観衆	100名以上
③ 新プログラムを作成する	脚本作成	1本
④ 練習を継続的に行う	練習回数	12回



【団体紹介】

千葉県生涯大学校浅間台教室の卒業生・在学中で2016年に発足した団体で、高齢者福祉施設で笑劇を演じ、多くの方に笑って頂き、喜んで頂き、そして元気になって頂くことを目的としています。

《問合せ先》

■ 代表者 部長 砂永 宏

■ 住所 松戸市常盤平柳町 8-21

■ 連絡先 幹事 神原 頼男

■ Eメール y-kambara@mx7.ttcn.ne.jp

<p>生活圏に 「お節介な友達づくり」 活動推進 事業</p>	<p>団体名</p>	<p>介護・認知症の家族と歩む会・松戸</p>
---	------------	-------------------------

<p>事業費 275,000 円</p>	<p>自己資金 75,000 円</p>	<p>助成金 200,000 円</p>
----------------------	----------------------	----------------------

平成 31 年度（2019 年度）事業の取り組み【予定】

核家族、高齢者のみ世帯、単身高齢者世帯など生活圏内における相互扶助の精神・行動の再生の一助たる活動を目指します。

個人生活優先が拡がり、他人の存在に無関心な市民増加の一途をたどり、認知症を始め、様々な病気等の介護・サポートを必要としている今日、正しい情報と、前向きに生きる動機づけの言葉の力を理解できる、お節介な友達の育成が急務と考えています。

令和元年は、認知症の疑似体験会～「認知症の心と脳の混乱」の要因の解説～実施。講座・ワークショップ等、老いて支えを待っている人の不安に共感できる友達として必要な「心」と「ことば」を学ぶため、常に以下のテーマを基本に置きます。

- ①あなたが出来る事は？
- ②地域に必要と思うことは？
- ③ボランティアとの違いは？
- ④伝えたい事と、伝わる事は違う
- ⑤レッテル・フィルター人間からの脱皮
- ⑥「宝探し」長所の確認と発信・欠点の確認と置き換え
- ⑦「かがみ遊び」・潜在意識との対面・自己の気づき・他者への理解。



平成 31 年度（2019 年度）事業の目標

「認知症体験会」を年 3 回。

「おしゃべり広場」・「交流会」・「相談会」は、毎月開催。

※気軽に、何気なく立ち寄れることを目指し、年間を通して、市民が 10 人程度来れる会場にて開催する。

「ワークショップ」・「講座」は年間各 6 回。

「講座」には、ワークショップ部分（30 分程度）を組み込む。

【団体紹介】

笑顔で安心して、暮し続けられる地域～生活圏～づくりのお手伝い

個人と向き合う活動

認知症疑似体験～心と脳の混乱の解説～を開催しています

《問合せ先》介護・認知症の家族と歩む会・松戸

松戸市松戸 1139-1-808 電話：090-5509-5398 Eメール：ao31212@s6.dion.ne.jp

市民の権利擁護に関する 啓蒙普及事業	団体名	一般社団法人コスモス成年後見 サポートセンター千葉県支部
-----------------------	-----	---------------------------------

事業費	584,100円	自己資金	284,100円	助成金	300,000円
-----	----------	------	----------	-----	----------

平成31年度（2019年度）事業の取り組み【予定】

今般内閣府から厚生労働省に所管が移行した成年後見制度利用促進計画の具体的な肉付けが各自治体に求められているところ、身上監護にとどまらず広く権利擁護に係る支援を必要とする高齢者や障害を持っている市民が松戸市内においても増加している。このような中、日常生活に関する支援のみならず自身若しくは生計において支柱となる親族に死亡・傷病等の理由による不測の事態が生じた場合又は生じるおそれがある場合における支援は喫緊の課題であり、福祉・医療・法律の分野が密接に連携し地域支援のネットワークを構築する必要性が益々高まっているものと思われる。

以上のような認識に立ち、「人の死」にまつわる様々な問題を市民とともに考え、「その時」のために自分そして親族・地域に対してできることを法律若しくは医療の専門家から講義をいただくとともにワークショップを通じて参加者に理解を深めていただくことを目的とする。

（1）講演会

「人の死」にまつわる様々な問題の中で、特に「看取り」と「死後事務・相続」をテーマとした30～50分程度の講義を医師・医療関係者または法律関連専門職に依頼して行う。これにより、「人の死」にまつわる様々な問題の本質を提示し、「人の死」に直面する前に意識・関心を持つことと事前に備えることの重要性を参加者に理解していただく。



（2）ワークショップ

前述の講義内容に対する理解をさらに深めるため、医療・介護・看取り・死後事務において問題となる事項についての自己確認作業として、各自に係るエンディングノートの一部作成を少人数のグループにまとめて行う。グループ毎に「当団体の会員を1名配置し、付きっきりで作成例の解説と作成指導を行うこと」によって、エンディングノートの作成の意義と「人の死」にまつわる問題の解決にどのように役立つかについての理解を深め、また、参加者間で共有する。



平成31年度（2019年度）事業の目標

実施会場は新松戸地域、本庁地域、常盤平地域の3ヶ所を予定。いずれも公共施設を使用する。

1会場につき30～80人程度の参加を見込む。

用意するエンディングノートは、会場でのワークショップにおける使用以外に、参加者による参加者の近親者等への紹介用として1会場あたり50～100部ほどの配付を見込む。

【団体紹介】

千葉県内の高齢者、障害者等が自らの意思に基づいた日常生活が過ごせるよう、権利の擁護と財産の管理等について支援することにより高齢者、障害者等の福祉の増進に寄与することを目的とする。

《問合せ先》 一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部

〒277-0005 千葉県柏市柏6丁目1番1号 流鉄柏ビル6階

電話 04-7162-6615 FAX 04-7170-0299

Eメール canihelptyou@y5.dion.ne.jp URL <http://www.cosmos-chiba-koken.net/>

担当者 松戸管轄長 関谷 一和（せきや かずと）

